

平成 30 年度阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
阿寒地域部会・摩周地域部会【第 2 回】(合同開催)

議事概要

1. 日 時：平成 30 年 10 月 24 日 (水) 13:30～15:30
2. 場 所：阿寒湖まりむ館多目的ホール
3. 出席者：出席者名簿のとおり
4. 議 事

■開会

○北海道環境生活部環境局生物多様性保全課自然公園担当課長 小林隆彦 挨拶
日頃から環境行政にご理解ご協力いただき感謝。

平成 28 年 12 月にステップアッププログラムを策定して約 2 年が経過。各ビューポイントでの取組や町並みの改善など目に見える様々な点でご協力いただき改めて感謝。外国人観光客を毎年着実に増加して、興味の対象を拡大しており、それぞれの取り組みをより効果的に推進していただいている。今まさに満喫プロジェクトは折り返し地点にきていると考えている。中間評価も行われ、進捗状況や課題に基づき、評価を示されている。中間評価を踏まえ、地域で共通認識を持つことが重要であると考えている。満喫プロジェクトは全道の他の自然公園の見本となる先駆的な役割である。改めて関係機関や地域の方々のご理解とご協力をお願いしたい。

■議題

- (1) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正案について

○環境省より資料 1 に基づき説明。

※意見等なし

- (2) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会の開催予定について

○環境省より資料 2 に基づき説明。

※意見等なし

- (3) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトの中間評価について

○環境省から資料 3-1、3-2、3-3 に沿って説明。

以下、各構成員より補足説明。

○補足事項

【国土交通省 北海道開発局 蒲澤開発連携推進課開発専門官】

- ・北海道開発局も阿寒摩周エリアを含め、道の駅を活用し、ドライブ観光を寄与するような情報のあり方を今年度検討している。ドライブ観光は平成 28 年度から

取り組んでおり、今年度は道の駅についてターゲットを絞っている。道の駅の機能として、主である休憩機能だけでなく、情報発信機能があるが広域的な情報発信が課題であった。併せて、外国人の道の駅認知度が低いことから外国人をターゲットとしたドライブ観光も課題としており、情報発信に努めているところである。

- ・参考資料 1 ページ目では、地域の方と協力し、情報発信するのが 1 つであり、ターゲットエリアに道の駅「摩周温泉」、道の駅「阿寒丹頂の里」が含まれている。道の駅において外国人の案内機能が高い道の駅「摩周温泉」を拠点とした取り組みを行っている。開発局としては昨年度からドライブ観光の移動経路を把握するために連携協定を結び、連携協定で得られる外国人の動向をとりまとめている。また、データをとりまとめ、無償データで提供している。

【足寄町商工観光振興室 村石室長】

- ・オンネトーについては昨年度から地元の事業者を中心に立ち会い等を行っている。厳選的な自然景観を視野に入れつつ、ガイドを両立することを目指している。必要な施設については、交付金等を利用し、利用者の方が使いやすいよう整備して参りたい。

【釧路市阿寒観光振興課 森主幹】

- ・釧路市が事業主体の取り組み、釧路市観光協会・市役所他課が主管している部分を説明させていただく。道の駅「阿寒丹頂の里」多言語に対応した再整備を行っており、今年度は道の駅周辺を案内する看板を多言語化した。

【特定非営利活動法人 阿寒観光協会まちづくり推進機構 山下専務理事】

- ・10月中旬にイタリアのトスカーナ地方で開催された ATWS（アドベンチャートラベルワールドサミット）に参加し、北海道経産局および北海道運輸局と共に北海道を PR すると同時に ATWS の北海道への誘致に取り組んで来た。11 月には ATTA（アドベンチャートラベルを推進する世界的団体）が選んだ旅行会社の方を対象にした、阿寒摩周および知床でのファミトリップも計画されており、今後に繋げていきたいと考えている。

【弟子屈町観光商工課 松岡課長】

- ・エコツーリズムで硫黄山の登山早期再開を検討している。屈斜路湖周辺で畑作をしたいという農家の意見があり、グリーンツーリズムの推進を検討している。
- ・川湯温泉街の再構築については、様々な関係機関が集まり、現在までに 14 回協議会を実施している。廃屋の撤去、上質な入浴・宿泊施設等を設置可能かどうか等取り組んでいる。摩周湖については、名称変更に伴い、入り込みは増えてきて

いる。今後摩周湖のあり方については各方面の方々と検討していきたい。

【美幌観光物産協会 信太事務局長】

- ・屈斜路カルデラ外輪山（藻琴山、美幌峠、美幌峠）のトレイルルートを美幌地区三町広域観光協議会で検討している。新規事業で北海道の助成金を活用している。10月30日にロングトレイル研修会を実施予定しており、平成31年2月にツアーを実施する予定である。

【清里町企画政策課 本松課長】

- ・清里町としては、神の子池が阿寒摩周国立公園の仲間入りをし、点から線、線から面に繋げる展開をしていこうということで、今回裏摩周と神の子池を結ぶトレイルコースの実証実験的ツアーを行った。（別紙記事のとおり）裏摩周や神の小池などの清里の自然を感じていただくツアーだったと感じている。結果は、スタートが裏摩周でゴールが神の子池のコースであり、「下り坂になっていて気軽に歩けた」などの意見があり、好感触であった。今後は、N（M?）TT や、トレイルランなどを一方通行である現ルートを周遊・逆ルート等を関係機関と協力しながら来年度は本格運転をしてきたいと考えている。また、熊が非常に散見される場所でもあり、安全対策の面でも注意し、進めて参りたい。

【北海道釧路総合振興局環境生活課 大宮課長】

- ・道が摩周で管理する3つの施設（摩周第一・第三展望台、裏摩周展望台→オホーツク総合振興局所管）があり、裏摩周展望台は関係機関で連携し、支障木の枝払いを実施したと聞いている。通行が規制される前に再度枝払いを行うかは検討中である。摩周第一・第三展望台においても同様の打合せを行っており、禁伐区域があることを確認し、主木を残して枝払いを実施する予定である。
- ・摩周第一・第三展望台においては、北海道で安全対策を中心に歩道や、転落防止柵の補修工事を今年度実施する予定である。また、6月にアトキンソン特別顧問が現地視察をされ、長時間滞在していただけるように寛げるベンチや誘導標識などを整備していきたいと考えている。硫黄山園地公衆トイレもインバウンド対応のために整備する予定である。

【環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 二戸国立公園保護管理企画官】

- ・川湯エコミュージアムセンターの取り組みについて、今年8月に改修工事をし、交流の場の提供やカフェを利用した摩周地域の自然・文化等の発信を目的に設置した。8月・9月にカフェの臨時営業を行った。ツアーデスクについて、川湯エコミュージアムセンターのカウンターを活用し、摩周地域のアクティビティを聞かれた際、モバイル端末によりアクティビティを照会する情報提供するサービスを開

始した。多言語化について、英語表記はしていたが、ネイティブライターによる文章の書き下ろしをし、阿寒摩周国立公園広域観光協議会の11市町村で合意形成されているICTを活用したアプリにより、多言語化を実施しており、管官房長官視察時にも評価された部分である。

- ・和琴野営場グランピング試験

10/1~10/31 まで試験を実施しているところである。インバウンド対策として、旅先でも自然のアクティビティやアウトドアを楽しむ層をターゲットとし、自然体験を求める外国人を増やすことが目的である。さらに現在の体験アクティビティ（カヌー、トレッキング、ホーストレッキングなど）とセットにした新たな魅力の提案を野営場の閉散期に誘引することで訪日外国人の増加を目指す。

グランピングを軸に、様々なアクティビティと連携させた取り組みを行うことで地元観光事業者等の活性化に繋げる。

【環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 小林国立公園利用企画官】

- ・プロポーシヨンの取り組み

昨年度から実施している「ツーリズム EXPO」は国立公園ブースを出展し、満喫プロジェクトに指定された8公園+3公園は個別ブースでPRを実施した。参加状況は136カ国、1,441（前年比10%増）の企業・団体来場者数207,352人と、企業・団体数、来場者数ともに過去最高を記録しました。その中で、阿寒摩周国立公園は具体的な質問が多く、好感触を得られた。

- ・今年から「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート」を新たに実施した。各公園が出展し、海外事業者と商談をする場で、阿寒摩周国立公園は広域観光協議会と連携し、地域のコンテンツを掲載したコンテンツ集を作成して事業者との商談を行った。具体的なツアーの相談もあり、公園内でどのようなツアー展開が可能か確認されることもあった。

【一般財団法人自然公園財団川湯支部 渡邊所長】

- ・硫黄山駐車場について、チケットハウスの塗装を実施した。摩周第一駐車場についても実施予定である。硫黄山料金表を英語表記へ加えた。名称変更1周年を記念し、摩周観光協会主催の地元民による意欲再発見を促すため、弟子屈町民向け駐車場の無料開放を3日間実施した。硫黄山で140台、摩周湖130台の利用を確認した。入り込み状況については、落ち込み傾向である。8月までは前年比1割程度減、9月台風・大規模停電の影響により、前年度の70%~80%程度の入り込みである。

【一般財団法人自然公園財団阿寒湖支部 田中所長】

- ・今年度中にエコミュージアムセンターの中で販売をする予定である。フォレストガーデンの駐車場整備に伴い、除雪ステーションを設置していただいた。入り込みは

地震や台風の影響がある時期を除くと例年どおりである。

○環境省から参考資料 2～4 に基づいて説明

※意見等なし

(4) その他

○全体を通しての意見等。

【北海道釧路総合振興局 阿部暮らし・子育て担当部長】

- ・資料 1-3「今後の進め方 概要版 4.テーマ別の取組 (7) 全国展開」の部分において自然公園制度の見直しを検討と記載されているが具体的には何を見直していく予定か。わかる範囲で教えていただきたい。

【環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 笹渕所長】

- ・前回の自然公園法改正が平成 21 年で、大体 5 年毎に改正するのですが、5 年を大幅に超えており、改正をする必要があると本省でも話題になっていたところである。満喫プロジェクトのタイミングに合わせて改正する予定である。

【北海道環境生活部環境局生物多様性保全課 小林自然公園担当課長】

- ・自然公園財団阿寒湖畔支部への質問
駐車場の入り込みについて、外国人の入り込み統計等把握されているのであれば教えていただきたい。

【一般財団法人自然公園財団阿寒湖支部 田中所長】

- ・駐車場で外国人の入り込みを把握していない。エコミュージアムセンターでは、欧米系・アジア系・日本人程度で把握している。データ管理も行っている。駐車場は難しいが、キャンプ場も同様の調査を行えば把握は可能と判断している。

【北海道環境生活部環境局生物多様性保全課 小林自然公園担当課長】

- ・ステップアッププログラムで外国人観光客の目標数があるので、地域で客観的にそのようなデータを得られればより良いのではないかと。

■閉会

○環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 笹渕所長

本日はお疲れ様でした。先ほどステップアッププログラムの話があったが、個人的にステップアッププログラムを読みながら感じているのは、各方面で様々な取り組みを行っている中で、どう変わっていったかがわかりづらい内容であると感じている。国立公園は、観光資

源としてとても魅力的なものであり、民間事業者等が投資して観光を盛り上げていこうと思えるようなビジョンを示せるかが満喫プロジェクトの大事な部分であり、民間事業者等が期待感を持てるステップアッププログラムができればと感じている。海外の方から日本で大規模な自然は北海道にしかないと重宝されていると感じていて、アドベンチャーツーリズムはキーワードであると考えている。阿寒摩周国立公園は、東北海道でも真ん中で位置する国立公園であるため、地域的な用件を生かして、東北海道の国立公園全体でアクセス等を充実させることで当国立公園を中心としたつながりを持つことができれば、より観光資源として強みになるのではないかと考えている。引き続き、皆様とご協力して阿寒摩周国立公園の活性化をしていきたい。